

重点課題実行計画書&重点課題作業工程表

「<安全・安心・笑顔>で暮らせる<やまがたプラン>づくりのために…」
「山形に住んでいるみんなで山形を元氣にする」

No	(a)
レベルー1項目	「やまがた」の現状認識と課題(サンプル)の意識化・啓発
レベルー2項目	①子供の安全の確保 ②大人の社会に潜在する問題・課題
テーマ名	①子供の安全を守れるはハード(システムを含む)ではなく地域のしくみ(声かけできるしくみ)をつくる ②あいさつとありがとうあふれるまちがいい人間関係をつくる
現状	* 地域として子供の安全を守る仕組みが弱まっている。 * 大人が他人の子供に対して管轄できない風潮になってきている。 * 社会や地域交流への参加意識が低下している。 * 親世代のしつけがあまりなっていない
実現方法	* PTA又は地域の大人(高齢者等)による見守り隊をつくる。 * 地域間の連携を図る(見守り隊毎、連絡会など) * 自分の子供以外の子供にも関わることのできる環境を作る。 * 参加しやすい地域活動を増やし、周知を徹底する。 * 親子で参加可能な勉強会(マナー、つきあい方など)を催す。
KP & 担当者	企画立案:松田・五十嵐 実行:松田・五十嵐 会計:五十嵐
目標スケジュール	* 見守り隊立上:5月 * 連絡会の実施:7月 * 勉強会の実施:6月から1回／月 * 子育て講演会の実施:4月 * 地域活動世話便の研修会の実施:4月(参加費で賄う) * 交流会:6月から1回／3ヶ月
概略予算	会議費:200円／人×20人×20回=80,000 スタッフはボランティアとする 講師謝礼:30,000円+10,000円×12ヶ月=150,000円 消耗品:100,000円 会場費:500円@学校×10回=5,000円 広告・宣伝費=70,000円 合計(スタッフはボランティアとする)=405,000円
成果品の姿	見守り隊の結成と実行⇒子供の安全の向上 事業報告書 地域の活性化=大人・子供を含めた笑顔・交流・会話 大人の意識改革

JOBコード □-□□□-□-□-□□□

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 ____ 月 ____ 日 作成 貢 ____

御注文先		プロジェクト名称 「安全・安心・笑顔」で暮らせる「やまがたプラン」 納期 づくりのために… <山形の現状認識と課題の意識化・啓発>										改訂	日付	摘要		作成	検討	承認			
番号	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12								
1	子供の安全の確保																				
	立上げ準備																				
	※見守り隊の結成			結成 ①																	
	※連絡会の組織による地域間の連携			結成 ①																	
	※勉強会の実施			結成 ①																	
2	大人の社会に潜在する問題・課題の認識																				
	立上げ準備																				
	※子育て講演会の実施			★																	
	※地域活動世話人の研修会開催			★																	
	※交流会の開催			結成 ①																	
備考																	承認	検討	作成		
																	黒沼	一	松田 五十嵐		
記付 先																					

No	(b)
レベル-1項目	「地域づくり」のためのエネルギー創出(動機づけ)の方法
レベル-2項目	①交流の機会設定の方法の握り起こし ②人づくり、まちづくりのトリガー(契機)になるイベント実施に必要なエネルギー確保
テーマ名	①身近なところからの地域活動参加の機会づくり ②地域活動、お祭りなどで近所との関係作りをさらにすすめていく
現状	*昔からの住民は高齢者世帯が多い一方、新しい住民は核家族が多い。 *面識のない住民がいるので不安。 *共働きの家庭が多い。
実現方法	①地域の高齢者に「子ども遊びのスタッフ」になってもらう。 ・下校時には地域の高齢者が小学校まで迎えに行き一緒に下校する。 ・子どもたちの遊び場(広場・公園)で昔遊びを教える ②周囲の人と会話や交流が生まれるような遊び場、集会場イベントを作る ・交流イベント企画・勉強会の実施
KP & 担当者	KP:大町 担当:PTA保護者会、幼児・小学校の父兄、町内会役員
目標スケジュール	来年3月
概略予算	収入:町内会費より計上 支出:スタッフ腕章代 1,000円／個×高齢者人数分
成果品の姿	*地域住民間のコミュニケーション向上を通じて面識が広がる。 *老若男女間の交流の場・空間の生成 *昔遊びの復活・伝承 *低学年の子供の登下校時の安全向上

JOBコード □-□□□□-□-□-□□□□

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称 「安全・安心・笑顔」で暮らせる「やまがたプラン」 納期 づくりのために… <「地域づくり」のためのエネルギー創出>	改訂 日付 0 2006/2/16 初発行	摘要	作成 検討 承認 大町 一 黒沼
------	---	--------------------------	----	---------------------

番号	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	地域の高齢者による「子どもの遊びマイスター」制度 企画&立上げ準備 *マイスターの結成と実践 *子供の登下校サポーター *普遊び実践(だがしや楽校の活用) *その他		■					■					
					■	■	■	■	■	■	■	■	■
					■	■	■	■	■	■	■	■	■
2	老若男女交流のための機会作り 企画&立上げ準備 *事例調査と選定 *地域活動世話人の研修会開催 *交流会の開催		■	■	■			■	■	■	■	■	■
					■	■	■	■	■	■	■	■	■
					■	■	■	■	■	■	■	■	■

備考					承認	検討	作成
配付先					黒沼	一	大町

No	(c)
レベル-1項目	プラン実行体制の検討
レベル-2項目	①人材の確保と育成 ②財源の確保
テーマ名	①<仕事>と<地域づくり>の両立?の可能性検討 ②財源確保方法の調査検討
現状	*社会や地域交流への参加意識の低下(特に男性) *社会環境・ニーズの変化への対応力不足(危機意識不足)
実現方法	①人材を育てるため教育、世代を超えた交流の場を持つ *地域づくり事例の調査・収集 *地域活動の意識醸成(ミッション・楽しさの発見)のためのセミナー企画・実行 ·大人向け ·子供向け *企業への出前講座の企画&実行(山形市市民活動支援センター「出前講座」の活用など) ②地域のイベント事業などで寄付を集める *企業への出前講座(有償)の企画&実行(山形市市民活動支援センター「出前講座」の活用など) *不用品回収販売、七夕お祭りで寄付を集める
KP&担当者	KP:松田(一)
目標スケジュール	来年3月
概略予算	講師料:10,000円/回・人×5=50,000円
成果品の姿	*仕事と地域活動両立のためのプロトタイプモデル *資金確保(寄付金など)手法の習得 *子供への地域づくり意識形成による将来の人材確保

JOBコード - - - -

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 貢

御注文先	プロジェクト名称		改訂日付	摘要	作成検討承認
	「安全・安心・笑顔」で暮らせる「やまがたプラン」 づくりのために… <プラン実行体制の検討>	納期	0 2006/2/16 初発行	板垣(一) 一 黒沼	

備考					承認	検討	作成	
	裏表	一					結果(一)	

Copyright: (有)SKソリューションズ SADASHI Kuronuma (200) ~

No	(d)
レベル-1項目	「地域づくり」の手法の検討
レベル-2項目	①現状に流されることなく「地域」がかつて保有していた良い「しきみ(手法)」の検証 ②「地域づくり」の現状、実態調査の実施
テーマ名	①本来日本社会がもっていた気くばりの復権 ②対策のみが課題になり「予防」領域が語られない現状の克服
現状	* 本来日本社会が持っていた気配り・地域の風習があまり見られなくなっている。 * 「地域づくり」の現状に関する住民の意識が必ずしも高くない。
実現方法	地域内コミュニケーションを活性化⇒地域づくりの実態調査を実施⇒かつて保有していた良いしきみの活かし方を考えていく》という手順で実現。 具体的には ①「地域づくり」に関する実態調査実施 ②良い仕組み(手法)を検討 ③地域内のコミュニケーションの活性化の推進(回覧板制度の更なる活用、各戸全員に回覧する等)。 ④①～③の結果を基に地域や地域活動に関する関心・意識を高める。
KP&担当者	KP:神保
目標スケジュール	①地域内のコミュニケーションの活性化推進(～06. 5) ②地域や地域活動に関する関心・意識の高揚(～06. 5) ③「地域づくり」に関する実態調査実施(06. 6) ④調査結果分析(～06. 8) ⑤仕組み(手法)検討&実行(06. 9～)
概略予算	* 回覧板に差込む案内文作成:1万円 * 告知ポスター制作(1万円) * 実態調査票起案&作成(1万円) * 調査結果分析・評価リポート調製(2万円) * 仕組み案構築&上程(5万円)
成果品の姿	* 実態調査分析・評価リポート * 実態調査・分析・評価手法要領 * 地域住民の地域イベントへ等への関心度向上 * 「地域づくり」の手法の検討作業を通じて生まれる住民同士の交流・協働作業要領

JOBコード □-□□□□-□-□-□□□□

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 貢

御注文先	プロジェクト名称	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認
	「安全・安心・美顔」で暮らせる「やまがたプラン」 納期 づくりのために… <「地域づくり」の手法の検討>	0	2006/2/16 初発行		神保	一	黒沼

番号	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	「地域づくり」に関する現状調査												
	*先行事例の調査実施												
	*結果の分析・評価												
2	新しい「地域づくり」の手法の検討												
	*「予防」に視点を置いて問題、課題の改善策の盛込み												
	*気配りの復権に繋がる方法の抽出												
	*コミュニケーション活性化に繋がる方法の選択												
	*地域活動への関心・意識を高める方法の選択												
	*親子が一緒に参加できる方法の												

備考		承認	検討	作成	
		黒沼	一		神保
配付先					

No	(e)
レベルー1項目	情報の受発信機能の確保
レベルー2項目	地域へ参加する手段、仕組みを知らしめていく
テーマ名	双方向且つ個人の参画が可能な情報受発信機能の構築
現状	詩、県など地域の公報、各種案内などの情報配信手段(個人にとっては受信)は多数あるが個人の参画(発信)機能の具備は低い。つまり、情報は殆ど一方通行であり双方向機能は少ないといえる。地域内での交流やサークル活動での情報交換は散見される。
実現方法	①「地域づくり」の情報受発信システム(県、市町村)の調査・分析・評価を実施する。 ②①の結果から「安全・安心・笑顔」で暮らせる「やまがたプラン」づくりに対応した費用対効果のある且つ実行可能な情報受発信機能の仕組みと実現方法を提起する。 ③②を提言書として県、市町村の担当部署へ上程し協働にてその実現に参画する。
KP & 担当者	KP:樺森
目標スケジュール	12ヶ月
概略予算	*「地域づくり」の情報受発信システム(県、市町村)の調査・分析・評価:5万円 *「安全・安心・笑顔」で暮らせる「やまがたプラン」づくりに対応した費用対効果のある且つ実行可能な情報受発信機能の仕組みと実現方法の提起:10万円 *提言書の調製:5万円
成果品の姿	*「地域づくり」の情報受発信システム(県、市町村)の調査・分析・評価リポート *「安全・安心・笑顔」で暮らせる「やまがたプラン」づくりに対応した情報受発信機能の仕組みと実現方法案 *提言書 *県・市町村との協働・連携による<情報の受発信機能>の確保

JOBコード □-□□□-□-□-□□□

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 貢

御注文先		プロジェクト名称	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認						
		「安全・安心・笑顔」で暮らせる「やまがたプラン」 納期 づくりのために… <情報の受発信機能の確保>	0	2006/2/16	初発行	樺森 一	黒沼							
番号	項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	「地域づくり」の情報受発信システムの調査・分析・評価 *調査要領作成、調査票作成・発送 *分析 *評価													
2	「安全・安心・笑顔」で暮らせる「やまがたプラン」対応の情報 受発信機能のしくみ・方法の企画													
3	2項の企画を「提言書」に纏め上げて県・市町村に提出													
4	県・市町村との協働・連携による<情報の受発信機能>の確立													
備考														
配付先												承認	検討	作成
												黒沼	一	樺森

No	(a)
レベルー1項目	事業企画アイディアの整理から企画書のまとめ
レベルー2項目	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に潜在する元気のシーズ(もと)としての年長者の知恵の活用 ・郷土の文化・芸能を活かしたアイディアの創出
テーマ名	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りが健康で介護の必要がない生活のできるやまがた実現 ・伝統芸能サークルづくり(県外、海外含む)
現状	山形は益々高齢社会になり各商店街の空洞化の問題にも将来的大きい問題が発生する。
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に潜在する年長者の智恵の活用 ・他地域に繋がる資源を探す ・郷土の文化、芸能を活かすアイディアの企画立案 ・スポーツ、芸能関連のイベントの企画実行
KP & 担当者	田川
目標スケジュール	調査・企画書立案に6ヶ月?その後に実行
概略予算	<ul style="list-style-type: none"> ・企画立案: すべてボランティアの形で最小の予算として概算TOTAL10万円 ・イベント実行は企画に応じて別予算を立てる
成果品の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・資源としての郷土の文化・芸能に関する年長者の智恵の調査リポート ・事業企画書案(下記は一例) シャッターを下ろした店舗での「おばあちゃんの郷土料理フェスタ開催」「若手芸人予備軍による落語フェスタの毎月開催」「老若男女元気カフェ」

JOBコード - - - -

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称		改訂	日付	摘要	作成	検討	承認
	山形に住んでいる皆んなで山形を元気にする <事業企画アイディアの整理から企画書のまとめ 納期>		0	2006/2/18	初発行	田川	一	黒沼

備考					承認	検討	作成	
					黒沼	一		田川
配付								

No	(b)
レベルー1項目	実行体制の検討
レベルー2項目	①郷土をテーマにしたワークショップの開催 ②人材の確保と育成
テーマ名	①子供～老人までみんなが気軽にいつでも参加できる活動、サークルを作る ②地域のお年寄りから技、智恵を受け継ぐ場を設定する
現状	①郷土文化を知る人が少なくなっている。老人と子供の交流による文化の継承が大切になっている。 ②豊富な知識・経験を持った人材が地域には埋もれていて活用されるのを待っている？
実現方法	①郷土文化・郷土文化サークルの調査、先生役の依頼、会場探し、広報、参加者集め ②埋もれた人材・求められる知識・活動する場の調査 人材のリストアップ、イベント企画
KP & 担当者	武田
目標スケジュール	①データ収集(3ヶ月)、郷土文化の選択(1ヶ月)、組織作り・会場設定(2ヶ月)、広報(3ヶ月) ②データ収集(3ヶ月)、人材リスト作成(1ヶ月)、活動場所の斡旋(2ヶ月)、イベント企画(2ヶ月)
概略予算	①サークル広報(チラシ)制作:1万 ②イベント会場使用料、広報(チラシ)制作:10万
成果品の姿	①郷土芸能サークルの立上実現と継承 ②人材リスト、人材活用の場の確保、智恵と技を発表し広めるイベント開催

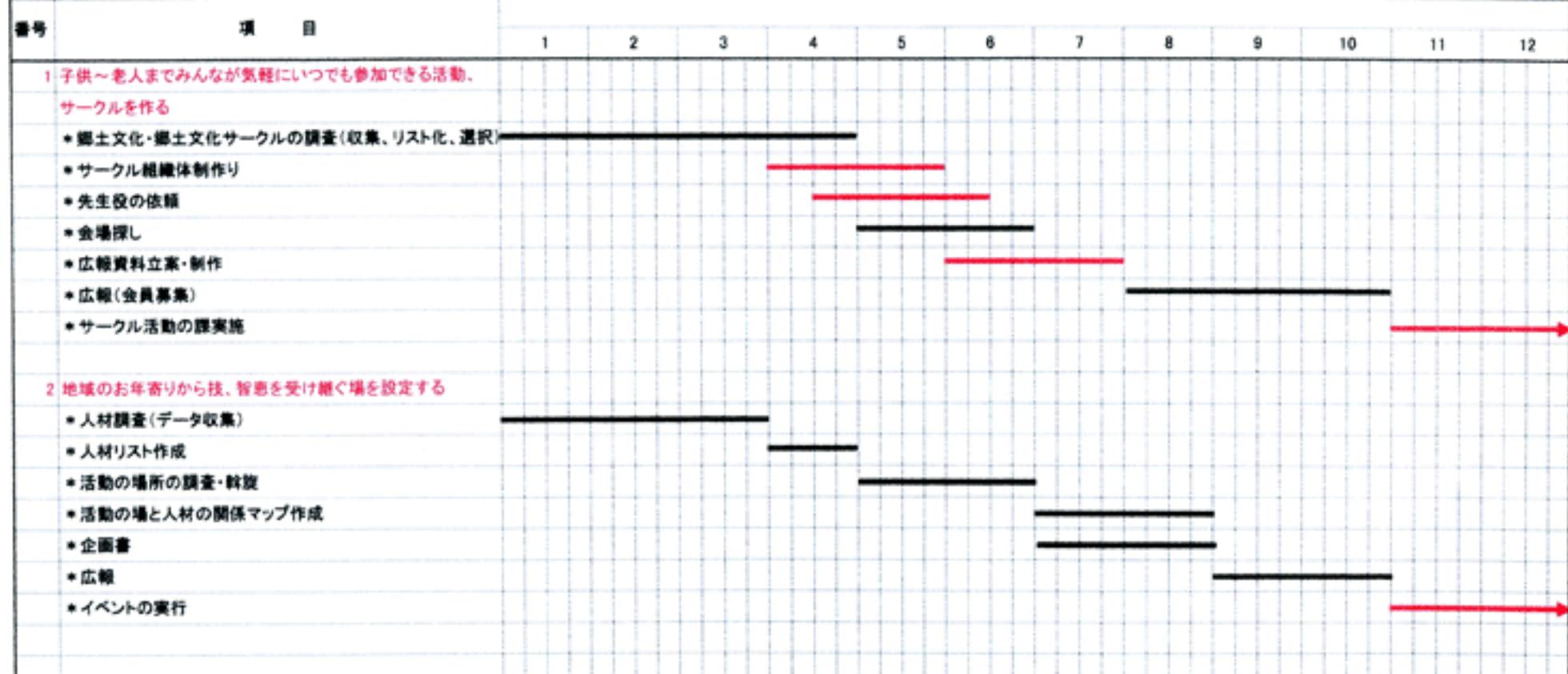
JOBコード □-□□□□-□-□-□□□□

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 責

御注文先	プロジェクト名称	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認
	山形に住んでいる皆んなで山形を元氣にする 「実行体制の検討」	0	2006/2/18	初発行		武田 一	黒沼



備考	承認 検討 作成			
	黒沼	一		武田
配付先				

No	(c)
レベルー1項目	資金の確保
レベルー2項目	①お金が提供できる団体即ち政府(県・市)企業…etcの協力を得る方法を考える ②落語ファンドのようなもの(一人一口〇〇〇円で集めて落語家を呼ぶ)を作つて山形を笑いの街にする
テーマ名	地域起業の中から<元氣にするための会>のような会合を開き意見交換をして発展させてイベント企画に繋げる
現状	各地域で会合はあると思われるが内容と実施状況については把握していない。また関連するようなイベントは無いと思われる。
実現方法	①「元氣にするための会(仮称)」のPRをし、企業へ呼びかけ収益事業として開催のための計画を行う。 ②実現に向けて参考となる事例を調査しながらファンドの内容を協議してしくみづくりを行う。
KP&担当者	朝倉
目標スケジュール	①* <元氣にするための会>開催の企画立案:~06-7 * 協賛企業の調査・参加依頼:~06-10 * 県・市・企業へPRするための広報資料(できればHP&リンク) 作成:~06-11 ②* 市場でのアンケート調査:~06-4 * 調査結果分析に基づいた事業企画・計画書・開催要領の作成: ~06-8 * ファンド設置の検討・立案:~06-8 * ファンド内容のPR・募集:06~
概略予算	①* 企画立案:ボランティア? * 交通費:2万円 * 広報資料制作:3万円(HPの場合は10万円) ②* アンケート起案・調査:ボランティア+1万円(郵送代他) * 企画書・計画書・開催要領作成:ボランティア? * ファンド設置検討費:ボランティア? * 交通費:2万円
成果品の姿	①企画書・開催要項の計画書、広報資料(できればHP) ②お笑いファンドの企画書・計画書・開催要領

JOBコード □-□□□□-□-□-□□□

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称	納期	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認
			0	2006/2/18 初発行	朝倉	一	黒沼	

番号	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	企業等への呼びかけを通じて資金確保に繋がる「山形を元気にする会(仮称)」の企画立案 *企画書検討・立案 *協賛可能な参加企業の調査＆リストアップ *リストアップ企業への参加依頼 *広報資料の作成 HPのケース(県・市・企業へのリンクを含む)				■	■	■	■	■	■			
2	事業をトリガーにしたイベントファンド設置 *市場調査・分析・評価 *事業企画・計画書(興行主を含む体制も)作成 *ファンド設置の検討・立案 *ファンドの内容のPR・募集			■	■	■	■	■	■	■			

備考	承認			検討			作成		
	黒沼	一	朝倉						
配付先									

No	(d)	
レベル-1項目	情報の受発信 & 広報機能の整備	
レベル-2項目	月刊「やまがた」地域マップやフィギアグッズをセットした開発、販売	
テーマ名	『月刊「やまがた」地域マップの発刊やフィギアやグッズをセットにした開発、販売』などを通して【情報の受発信 & 広報機能の整備】を図る。	
現状	* 県のおいしい山形推進機構のキャラクター「ペロリン」があるが県民に広く浸透していない。 * 山形県民による「山形を元気にする」にふさわしい県民のための情報誌(県民参加型)は少ない。	
実現方法	* 既存情報誌を県民参加型にする。⇒YAMAGATA1などの分析 * 月刊「やまがた」の企画・構成案: ・地域毎の情報マップを掲載 ・県民に記事や詩や写真などの作品を募集し掲載 ・やまがたでがんばっている人を取上げる(応募誌) * キャラクターは公募し、選考委員も公募 * キャラクター用のテーマソングや子供たちがおどれる体操をテレビで宣伝できればなお可	
KP&担当者	菅野(美)	
目標スケジュール	県内月刊誌等の調査 ↓ 発行会議(タイトル分割?) ↓ 記事募集告知と募集 ↓ 制作、販売	キャラクター等公募 ↓ 選考 ↓ 決定 & コマーシャル ↓ 制作
概略予算	調査費 0円 公募・宣伝費 10,000円 月刊誌制作印刷 100,000円 キャラクターグッズ制作 30,000円	
成果品の姿	月刊誌 1万部 キャラクターグッズ 1万点	

JOBコード □-□□□□-□-□-□□□□

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先		プロジェクト名称	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認						
		山形に住んでいる皆んなで山形を元気にする ＜情報の受発信＆広報機能の整備＞」	0	2006/2/18	初発行	菅野	一	黒沼						
番号	項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	月刊「やまがた」の発刊				分析・評価									
	* 県内月刊誌等の調査・分析・評価													
	* 発刊事業企画検討(体制、その他)													
	* 広報資料作成													
	* 記事募集告知と募集													
	* 初刊号制作・発刊													
2	キャラクターグッズ制作販売													
	* 市場調査、分析・評価													
	* 事業企画・計画書(体制も)作成													
	* キャラクター公募資料作成													
	* キャラクター(ネーミングも)公募＆選考													
	* 宣伝資料作成													
	* 製作													
3														
備考														
配付先														